

2017 世界トライアスロンシリーズ横浜大会の結果報告について

2009 年第 1 回大会から数え 8 回目の開催となる「2017 世界トライアスロンシリーズ横浜大会」を平成 29 年 5 月 13 日(土)、14 日(日)の両日に開催しましたので、結果を報告します。

(1) 競技結果

ア 5月13日(土) エリート(トップアスリート) 大会

競技種目	出走者数	完走者数	完走率
パラトライアスロン	70 人	68 人	97.1%
エリート	115 人	88 人	76.5%
参加国	36 の国及び地域		

イ 主な成績

(エリート)

	順位	氏名	国及び地域	タイム
レース結果 【女子】	1 位	フローラ・ダフィ	バミューダ諸島	1:56:18
	2 位	ケイティ・ザフィアエス	ア メ リ カ	1:58:09
	3 位	カーステン・カスパー	ア メ リ カ	1:58:17
		(日本人)		
	13 位	佐藤 優香	日本	2:00:02
	17 位	高橋 侑子	日本	2:00:32
レース結果 【男子】	順位	氏名	国及び地域	タイム
	1 位	マリオ・モーラ	スペイン	1:48:15
	2 位	フェルナンド・アラルサ	スペイン	1:48:23
	3 位	クリスティアン・ブルンメンフェルト	ノルウェー	1:48:26
		(日本人)		
	25 位	小田倉 真	日本	1:51:12
39 位	細田 雄一	日本	1:54:20	

(パラトライアスロン) ※障害の種類・程度により 6 区分

○切断やまひなど肢体不自由の立位の選手が出場するクラス (PTS 4)

レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
PTS 4 【女子】	1 位	谷 真海	日本	1:18:06
	2 位	サリー・ビルビーム	オーストラリア	1:21:43
	3 位	パトリシア・コリンズ	アメリカ	1:21:50

○ハンドサイクルや競技用車いすを使用する選手が出場するクラス（P THC）

レース結果	順位	氏名	国及び地域	タイム
P THC 【女子】	1位	土田 和歌子	日本	1:15:11
	2位	ジェイド・ジョーンズ	イギリス	1:16:30
	3位	エバ マリア・モラル ペドレロ	スペイン	1:17:42
	4位	リジー・テンチ	イギリス	1:22:26
	5位	サラ・テイト	オーストラリア	1:38:46

ウ 5月14日（日）エイジ（一般）大会

競技種目	申込者数	出走者数	完走者数	完走率
パラ・一般・リレー	1,640人	1,511人	1,292人	85.5%

・最年少出場者17歳、最高齢81歳

(2) 観戦者数

305,000人（2日間合計・・・13日（土）92,000人、14日（日）213,000人）

(3) ボランティア

延べ約1,120人

(4) 映像発信

- ・ NHK BS1 約5時間に渡りエリート女子・男子競技を生中継
5月13日（土）10:00～15:15
- ・ 国際トライアスロン連合のホームページを通じて世界中に発信
5月13日（土）、5月14日（日）とも大会終了まで放送

(5) 今大会の特徴

ア バイクコースの見直し

エリート及びエリートパラのバイクコースを、今大会から港街・横浜の象徴である赤レンガ倉庫の2棟間を通過するテクニカルなコースに変更し、横浜の魅力を世界中に発信しました。

イ 公道を使用した事前試走の実施

参加選手の安全を確保するため、バイク試走を大会前に行うことを国際トライアスロン連合から求められていました。今回、神奈川県警察と調整の結果、大会前日の5月12日（金）の午前6時15分から7時頃までエリート選手のバイクコースの試走を実施し、エリート選手78名、エリートパラトライアスロン選手63名が参加しました。

ウ 緑化フェアとの同時開催

「全国都市緑化よこはまフェア」の開催に伴い、大会会場となった山下公園や、みなとみらい地区コース周辺では、花と緑に彩られた魅力あふれるコースとなり、選手をはじめ、多くの観戦者に「トライアスロン・パラトライアスロンの街、横浜」をさらに印象づけることができました。

(6) コース

山下公園をメイン会場とし、スイム1.5km、バイク40km、ラン10km、全体で51.5kmのスタンダードディスタンス（P4コース図参照）

5/12 (金) 大会前日の公道バイク試走



県警察の先導によるエリートパラ 公道試走



エリート男子・女子 公道試走

5/13 (土) 赤レンガ倉庫2棟間を疾走する新コース



エリートパラ



エリート女子

5/13 (土) エリートパラ女子 日本人選手の活躍



谷 真海 選手 (PTS 4 **優勝**)



土田 和歌子 選手 (PTH C **優勝**)

5/13 (土) エリート男子・女子



マリオ・モーラ選手 (優勝)



フローラ・ダフィ選手 (優勝)



ポンツーンからスイムスタート

5/14 (日) エイジ (一般)



スタートセレモニーに鈴木大地スポーツ庁長官がご列席

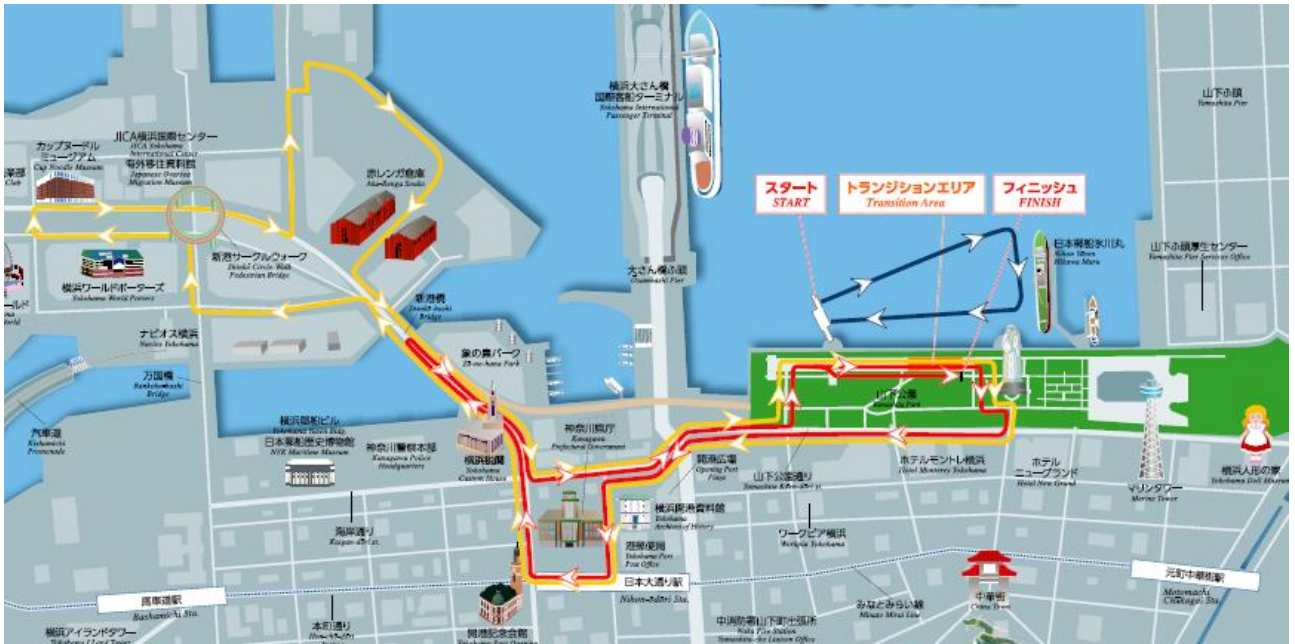


山下公園内をラン



パラ選手とスイムイグジットアシスタント

<コース図> 5/13 エリートコース



<コース図> 5/14 エイジコース

